

南紀熊野ジオパーク探偵団

令和5年度「紀伊半島の森林の生態系を考える」活動実施要領

南紀熊野ジオパーク推進協議会

令和5年8月28日作成

1 目的

森林は、二酸化炭素を吸収したり、多様な動植物を育むなど私たちに様々な恩恵をもたらしています。しかし、世界では、1000万ヘクタール（北海道面積の約1.2倍に相当）の森林が毎年破壊され、約4万種が今後数十年で絶滅の危機に瀕すると報告されています*。

一方、江戸時代に紀州藩では、「留山」という制度を定め、森林資源の保護や土砂災害の防止が必要な場所での樹木の伐採などを禁じていました。現代でも、和歌山県では、先人の知恵にならい、貴重な自然生態系を支える森林を「新紀州御留林（しんきしゅうおとめりん）」として公有林化し永続的に保護しています。

本テーマでは、南紀の山奥に足を運び、天然林と人工林の生態系を観察するとともに、森林資源の活用も体験することで、この地域の森林がもつ特徴や機能について考察します。

* 出典：国連「持続可能な開発目標（SDGs）報告2022」



2 探偵団の活動の流れ

Step 1 <事前学習> 課題の認識	: 専門家の意見を聞いて課題意識を持つ	3つセットの参加が原則
Step 2 <現地活動> 原因調査	: 課題の元になっている現況を自ら調査する	
Step 3 <事後学習> 課題の共有	: 同じ視点を持つ者の中で課題を共有する	
Step 4 <探究活動> 課題整理、分析	: 専門家の助言を受けながら、さらに調査や調べ学習を行い、課題を整理分析し、思考する	応用編 チーム単位・個人単位 どちらも可
Step 5 <活動発表> 研究成果の評価	: 自らの気づきや発見、意見をまとめ、公表する 多面的な評価を受け、新たな気づきを得る	

3 主な日程

9月4日（月） 参加申込受付開始（9月29日（金）締切） 定員15名程度

① 10月上旬 事前学習（Zoom形式）

② 10月22日（日） 現地活動

場所：北海道大学和歌山研究林（古座川町平井）

《紹介ホームページ》

<https://www.hokudai.ac.jp/researchtimes/2022/09/-6.html>

《紹介動画 YouTube》

<https://youtu.be/tR-A5m0sYO4>



③参加者と調整し決定 事後学習（Zoom 形式）

以降の探究活動については、専門家が個別に対応

④令和6年2月頃 活動発表会（Zoom 形式）

◇令和6年5月頃 日本地球惑星科学連合大会でのポスター発表
（受付締切：令和6年4月上旬）

4 内容の詳細

①10月上旬 事前学習（Zoom 形式） 15:40～17:40（予定）

- ・日時は、平日夕方を想定しており、参加者等と調整して決定します。
- ・課題の認識を目的とした事前学習を専門家の講義を交えて行います。
- ・Zoomの接続先は、申込時のメールアドレスへお知らせします。
- ・事前学習までに、1ページに記載している北海道大学和歌山研究林の紹介動画を視聴してください。
- ・事前学習は、下記の内容で行います。
 - （1）ジオパーク探偵団について 南紀熊野ジオパークセンター 橋爪 正樹 所長
 - （2）SDGsと持続可能な地域づくりについて 和歌山大学 教育学研究科 岡崎 裕 教授
 - （3）水にすむ動物から南紀の森を知る
北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター
森林圏ステーション 和歌山研究林 岸田 治 准教授

②10月22日（日） 現地調査活動（雨天決行）

- ・場所：北海道大学和歌山研究林（古座川町平井）
<https://hokudaiwakayama.jimdofree.com/>



- ・定員 約15名（先着順）
- ・箸作りを通して天然林を構成する樹木の特徴を学びます。その後、天然林と人工林で動植物の観察を行います。
- ・集合：北海道大学和歌山研究林本館（古座川町平井 559 電話 0735-77-0321）
- ・昼食は持参してください。

9:30 集合・受付・オリエンテーション

9:50 研究林産の木材で箸作り

12:00 バスで研究林内へ移動、作成した箸を使いながら昼食(昼食は各自持参)

12:45-15:45 人工林と天然林を見学

16:00 研究林庁舎に戻り・解散

<交通手段>

○自家用車 JR 周参見駅、串本駅、古座駅から約1時間

○借り上げバス（定員10人前後）を運行します。

①田辺方面から（紀伊田辺駅発着）

②新宮方面から（新宮駅発着、古座駅経由）

※時刻等は後日お知らせします。

※借り上げバス乗降場所までの交通費は、当日、各自ご負担ください。

負担が難しい場合はご相談ください。

<現地活動についての留意事項>

- ・各自の服装は、長袖、長ズボン、歩きやすい靴としてください。
（10月はスズメバチが活動していますのでご注意ください。）
- ・各自の持ち物は、お弁当（昼食）、雨合羽、帽子、飲み物、タオル、メモ、筆記用具をご準備ください。また、乗り物酔いしやすい人は酔い止め薬を持参してください。
- ・現地調査活動には、子供たちの安全管理を徹底するため、引率者の同伴を求めます。
- ・雨天でも実施しますが、荒天等の場合は実施を中止します。実施の可否の判断は、前日の正午に行います。中止の場合のみ前日の16時までに引率者に連絡します。
- ・体調が悪い場合は、無理に参加しないでください。
- ・現地活動における保険は、南紀熊野ジオパーク推進協議会で負担し、SOMPO ホールディングス株式会社のレクリエーション保険に加入します。

③日時は参加者等と調整して決定 事後学習（Zoom形式）

- ・日時は、平日夕方を想定しています。
- ・現地活動から得た内容を共有する目的で事後学習を行います。
- ・それぞれ10分程度で気付いた内容を報告していただく予定です。

④探究活動

- ・探究活動は事務局員がサポート
- ・探究のテーマは参加者自身が決定
- ・専門的な助言等が必要な場合、専門家から助言。必要に応じて、他の専門家を紹介

⑤令和6年2月頃 活動発表会（Zoom使用）

- ・日程は、参加者と調整

5 問い合わせ先

南紀熊野ジオパークセンター 大江・本郷

〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬2838-3

電話 0735-67-7100 FAX 0735-67-7191

Mail e0320005@pref.wakayama.lg.jp

HP <https://nankikumanogeo.jp/event/tanteidan2023shinrin/>